

## 通信技術の未来を紡ぐ学生論文特集の発行にあたって



通信技術の未来を紡ぐ学生論文特集編集委員会

委員長 佐波 孝彦

「紡ぐ」。この言葉の意味が分からない学生諸君もいるかもしれない。本来の意味は綿や繭から繊維を引き出し、よりをかけて糸にしていく作業を表す言葉だが、「丁寧に、そして慎重に言葉や作品を形にしていく」ことの比喩的な表現としても使われる。蚕がじつくりと時間をかけて吐き出した繭糸を、人が繊細に紡いで生糸にし、更には絹という美しい布地を生み出す。紡ぐのは地味で根気がある作業である。しかし、そのように丁寧に織られた布は丈夫で美しく、永年にわたって我々の眼を楽しませてくれる。

これは技術の世界にも通じる。地味で根気のいる個々の研究から得られる知見が僅かであっても、それらを蓄積し丁寧に積み重ねる経験を積むことによって、より大きな素晴らしい技術へと繋がられるのである。今回で8回目となる学生論文特集は、学生諸君に通信技術の未来を紡いで欲しいとの願いを込めて、これまでと同様に和文論文誌編集委員会が企画した。

本特集に投稿された論文数は、論文20編であり、厳正なる審査の結果、最終的に論文7編を採録することとした。判定にあたっては、ご投稿頂いた著者の思いに応えるべく、幹事団で全ての通知文を一字一句吟味

した。また、採録した論文の中から、特に優れた1編を優秀論文賞として選定した。和文論文誌Bのweb (<http://www.ieice.org/cs/jpn/JB/>) 上で受賞論文を確認して頂きたい。

最後に、御投稿頂いた著者の方々、論文査読にご協力頂いた査読委員の方々、企画及び編集に御尽力頂いた編集委員各位、並びに事務局の方々に深く感謝申し上げます。本特集をきっかけとして、学生諸君が通信技術の未来を紡ぐために今後も積極的に論文を投稿してくれることを期待する。

佐波 孝彦 (正員：シニア会員) 平4慶大・理工・電気卒。平6同大大学院前期博士課程了。平7～9日本学術振興会特別研究員。平9慶大大学院後期博士課程了。同年名工大・電気情報・助手。平10千葉工大・情報・講師。平14同大助教授。平20ブリティッシュコロンビア大・訪問准教授。平21千葉工大・教授。平24同大大学院・情報科学研究科長。平27同大副学長。現在に至る。博士(工学)。主としてデジタル無線通信、同期システム、無線信号処理に関する研究に従事。平21、平25本会通信ソサイエティ活動功労賞、平27本会通信ソサイエティ功労顕彰状受賞。平25～平27本会通信ソサイエティ和文論文誌編集委員長。IEEE会員。著書「移動体通信における同期技術」「情報伝送の理論と方式」など。

### 通信技術の未来を紡ぐ学生論文特集編集委員会

委員長	佐波 孝彦
副委員長	山崎 憲一・塩川 茂樹
委員	有馬 卓司・伊藤 嘉浩・内田 大輔・小川 剛史
	坂井 文泰・笹森 崇行・菅原 真司・末次 正
	平 明徳・高橋 徹・富里 繁・豊田 啓孝
	中澤 進・中澤 仁・流田 理一郎・長谷川 洋平
	久永 光司・廣田 悠介・深田 陽一・福田 盛介
	不破 泰・星田 剛司・三上 学・道下 尚文
	山田 渉・山登 庸次